

知って備える 防災メモ

第69回



災害に伴う停電に備える

平成30年9月6日(木)に発生した『平成30年北海道胆振東部地震』では、市内において『震度5弱』を観測。市内全域で停電が発生し、完全な復旧までに2日間を要しました。今回の停電で、私たちの生活にとって『電気』がどれほど重要であるかを改めて認識した方も多いのではないのでしょうか。

停電は、地震や台風などの自然災害に伴って発生した場合、長期化する可能性があります。そのため、災害と共に日頃から備えることが大切です。

○暗闇を照らす『明かり』

暗闇の中の移動には、危険が伴います。懐中電灯は、一カ所を照らす場合に適していますが、手元がふさがると、避難する際の屋外の移動などにおいては、ヘッドライトが有効です。また、停電が長時間に及ぶ場合は、部屋全体を明るく照らすことができるランタン型のライトが役立ちます。

○重要な情報源『ラジオ』

災害時には、速やかに正確な情報を得ることが大切ですが、テレビなどが使用できない停電時には、ラジオが重要な情報源となります。地域の情報が

充実したコミュニティFM『FMびゅう』は、市と災害時における放送の協力に関する協定を結んでおり、避難などに関するさまざまな情報を提供していますので、活用してください。

また、懐中電灯やラジオなどに使う乾電池は使用しなくても消耗するため、定期的に点検、備蓄することも忘れてはいけません。

○スマートフォンなどの電源確保を

連絡手段や情報源となるスマートフォンや携帯電話は、災害時の命綱となり、それらを使用し続けるためには電源の確保が大変重要となります。

予備電源となる『モバイルバッテリー』は、電池式や充電式など、さまざまな種類がありますので、お使いの機器に対応したものを用意しましょう。

○停電時には、ブレーカーを『切』に

地震などにより発生した停電から復旧した場合には、押しつぶされたコードなどから発火し、火災を招くことがあります。停電時には、忘れずにブレーカーを『切』にしましょう。

▼問い合わせ
総務グループ(☎⁸⁵1130)

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

キッチン木曜会

『キッチン木曜会』は、昭和59年、市が開催した料理教室の受講者が集まり、結成された料理サークルです。

現在のメンバーは計8人。毎月、第2木曜・第4水曜日の10時から12時まで、婦人センターで活動しています。

「いろいろなレシピ・調理法を知ることができ、自宅で料理するときの参考になります。旬の食材やテレビなどで話題になっている食材などを使って、楽しく料理しています」と話すのは代表の古川治子^{ふるかわちこ}さん。

メンバーが持ち回りで調べたり考えたりした献立を協力しながら手際よく調理し、2時間の活動時間の中で下準備から実食



▲作り方を確認しながら手早く調理するメンバー

までを行っています。

古川さんは「キッチン木曜会で学んだ献立を何度か自宅で作るうちに、それぞれの家庭の個性が出て、より一層おいしくなるんです。野菜をたくさん使うことが多いので、健康にも良いですよ」と笑顔を見せます。

平成27年に入会した須藤^{すどう}タカさんは「キッチン木曜会に入会している友人に勧められて入りました。メンバーが優しく、話をしながら仲良く料理を楽しんでいます」と魅力を話してくれました。

手軽に作れるものから手間を加えた一品まで、幅広いジャンルの料理に挑戦することができます『キッチン木曜会』。活動に興味のある方は会員の栃尾^{とぎぬ}さん(☎⁸³1234)まで。



いろいろな料理を作って
食べて楽しい時間を過ご
しませんか